

中山間地域を支える金太郎の挑戦

地域おこし協力隊第一期生の佐藤克幸さん（36歳）は、高齢者の「力になりたい」と七ヶ宿町へ家族で移住してきた。

学生時代、佐藤さんはレスリング選手として国民体育大会で入賞の経歴があり、自慢の身体を活かし、農作業では30kgの米袋を二つも軽々運ぶなど、農家の人もびっくりするほどである。



寿司教室の様子



冬期間は豪雪地帯の七ヶ宿で除排雪作業に奮闘し力自慢の反面、元寿司職人という繊細な技術を合わせ持っている。地域の方々に寿司教室を開催するなど、コミュニティー活動も行い、移住者として積極的に地域にとけ込む心優しい「地域を支える金太郎」のような存在だ。

近年、七ヶ宿町では農作物の鳥獣被害が増加し、主にイノシシやサルの被害防止対策として、ワイヤーメッシュと電牧線を組み合わせた防護柵の設置を町内全域で進めてきた。昨年度まで総延長約50kmの防護柵の設置が完了し、これからも設置作業及び補修作業には力持ちの佐藤さんのような人材は欠かせない。

佐藤さんは今後「自然環境・子育て教育環境の充実した魅力ある七ヶ宿町で、自分の力を地域のために役立てたい」と語る。